



青森県立八戸聾学校

学校だより

令和6年11月29日



ハロウィン



11月上旬、幼稚園では少し遅めのハロウィンパーティーを行いました。思い思いの仮装をした子どもたちが、「トリックオアトリート!!」と言いながら大人たちを驚かせ、たくさんのお菓子をもらいました。



高学年クラブ活動 低学年ビブリオバトル



調理クラブ

今回はソーセージパイです。美味しくできました。

実験クラブ

ペットボトルロケット作り。自分の顔の写真を付けて飛ばしました。



来月のビブリオバトルに向けて、今月は先生方のバトルに参加しました。最後にはどちらが読みたいかを一人ずつ発表しました。





職場体験



11月12日（火）、13日（水）の2日間、八戸市内の企業や施設で職場体験をしました。中学部の4名の生徒たちがそれぞれの目標を考えて体験に臨みました。仕事をする上で重要な「報告・連絡・相談」を大事にしながら、2日間元気よく働くことができました。体験を通して、働くことの楽しさや大変さなどを知ることができたと思います。3年生にとっては今回の最後の職場体験でした。これまで学んだことや感じたことを卒業後の生活や進路選択に生かしてほしいと思います。今回は初めての体験となった1年生は来年、別の職種にもチャレンジして働くことへの視野を広げてほしいです。



アパホテル本八戸
(ベッドメイキング等)



ユニバース小中野店
(袋詰め、商品陳列等)



めん処 はっと庵
(接客、厨房等)



焼き肉レストラン 一心亭
(皿洗い等)



バイカラーボトルに興味津々

余暇時間を利用して、バイカラーボトル作りを楽しんでいます。バイカラーボトルとは、色水や色をつけたオイルを半分ずつボトルに入れたもので、水とオイルの性質を利用して、色が混ざったり分離したりする様子を観察できるものです。水性ペンから1色、クーピーから1色好きな色を選んでそれぞれ、水とオイルに着色します。キラキラのラメを入れると、とても素敵なバイカラーボトルが完成します。みんな、できたボトルを振って光にかざして、ゆっくり分離していく様子を楽しんでいます。





タイムカプセルプロジェクト 『10年後の自分へメッセージを送ろう!』

昨年の学習発表会が行われた10月28日、今から23年前に当時の幼児児童生徒が思い出の物を収めたタイムカプセルを開けました。盲学校から当時の児童生徒11名、聾学校から当時の幼児児童生徒8名、当時の教員21名が集まり、取り出された手紙やおもちゃ、手形、教室の表札などを見ながら思い出を語り合い、同窓会のような雰囲気の中で楽しい一時を過ごしました。

このタイムカプセルですが、後援会が企画し、行うことになりました。3月15日(土)、卒業式や卒業を祝う会が終わった後に、10年後の自分に向けた手紙や絵、写真、その他記念になる物をタイムカプセルに入れます。ご家族の方も入れることもできます。タイムカプセルに入れたい物がありましたら、3月15日に持ってきてください。

なお、タイムカプセルを開ける日は、10年後の令和16年度の予定です。その時にはお知らせしますので、八戸盲学校・聾学校にお集まりください。

タイムカプセルプロジェクト

ねんご じぶん おく
『10年後の自分へメッセージを送ろう!』

タイムカプセルは、箱のような入れ物に手紙や大切な物を入れて、何年後に開けるものです。
盲学校と聾学校では、10年後の自分に向けてメッセージ(手紙や絵)や記念になるような物をタイムカプセルに入れることにしました。
盲学校と聾学校のみなさん、準備をお願いします。

1 タイムカプセルに入れる物

- 10年後の自分に向けた手紙や絵
- 記念になるような物

2 タイムカプセルに入れる日と場所
令和7年3月15日(土) 12:00~12:20
場所: 体育館
※卒業式と卒業を祝う会の後に行います。

3 タイムカプセルを開ける日(予定)
10年後の令和16(2034)年
令和16年に連絡をするので、学校に集まってください。

P T A 合同奉仕作業

今年度2回目のP T A合同奉仕作業は、10月25日(金)13時30分から行われ、4名の保護者の皆様が、お忙しい中参加してくださいました。

「第2回P T A合同奉仕作業は、保護者の参加により、扇風機清掃作業が無事に終了しました。みなさん大変ご苦勞様でした。みなさんにぎやかに作業しながらの会話もあり、大変良かったと思います。」 杉山広志様(小6石田さん祖父)

